山都町立潤徳小学校　学校だより

狭霧（さぎり）の朝

潤徳小HP　令和５年２月２０日（月）　第５８号
QRｺｰﾄﾞ ←カラーで見られます！　校　長　池部　聖吾智（みわとも）

遊びの中で育つ

先週末は、久しぶりに運動場でウォーキングができました。すぐに低学年の子がやってきて、鬼ごっこをすることになりました。子どもたちは、いつものように私を集中的に追って来ます。さらに、私が不利になるように「コロコロ」とルールを変えるのです。

でも、その結果私ＶＳ一部の子という図式となり、自分が追いかけられなくなって面白くないと言いだすのです。そこで、少し話し合いをさせました（左写真参照）。最近、「大人げない」と言われる私ですが、ここでは子どもたちと同じ目線で参加し、この巨体で走り回るきつさを訴えました。そして「コロコロとルールを変えない」ことを決めました。

特に低学年では遊びの中で学ぶこともたくさんあるんだなと、私自身も学んでいます。

「学習まんが」は、ナカナカの“すぐれもの”

全国の図書館には「学習まんが」が置いてあります。これは、専門家の監修を受けたものが多く、中高生のテスト勉強にも役立つと言われています。私自身も、大人になってから「歴史」や「人物」「現代的課題」等をテーマにしたまんがを読むようになりましたが、短時間で読み終わることができ、スムーズに知識が頭の中に入ってくる“すぐれもの”だと思います。最近は、「ＳＤＧｓ」「くすり」「人物アルバム」等を読みましたが、この年になっても学ぶことは多いです。これからも（生涯）学び続けたいと思います。

さて、明日の朝読書時間は今年度最後の「読み聞かせ」となります。高学年教室に私が参上します！今までの読み聞かせとは違った視点からの読み聞かせをしようと思っています。乞（こ）うご期待！

潤徳抄

私の尊敬する人物の一人は伊能忠敬（江戸時代）だ。先週、本校図書館から「歴史を生きた７８人」という本を借りた。伊能忠敬（いのうただたか）のことが載っているからだ▼尊敬する一番の理由は、五十歳を過ぎてからも二十歳も年下の高橋至時（よしとき）から謙虚な姿勢で天文学・暦学を学び、地球一周に相当する距離を歩いて測量して周った。測量器具がそこまで充実していない江戸時代に現在の地図とほとんどかわらない精密な地図を作り上げたのだ▼伊能忠敬の影響で、五十歳を過ぎてもなお学び、挑戦し続けたいと思うようになった。伊能が子どもの時から算数が得意であったということにも親近感がわく▼本校の教育目標「確かな学びを『世のため・人のため』に生かそうとする児童の育成」はもともと通潤橋の建築に尽力した布田保之助をイメージして考えたものだが、伊能忠敬もまたイメージ通りの人物である。